

キッズいちえ 支援プログラム（児童発達支援）

作成日 2024.12.20

法人理念

私たちは、今日の出会いを大切に、力を合わせて人の心を育み皆が笑顔で暮らせる社会を作ります

支援方針

一人ひとりの能力や特性から「学びのスタイル」を見極め、成長に合わせて最適な「構造」を作ることで「考える」「分かる」「出来る」が積み上がり、日々の生活で出来ることを広げていくことを目指します。

営業時間

月曜日～金曜日 10：00～18：00（12：00～13：00 は営業時間外）
土曜日 10：00～16：00（12：00～13：00 は営業時間外）

送迎 なし

本人支援



家族支援

- ・保護者同室で療育を行い、随時お子様の様子や課題を共有しながら相談援助を行います。また保護者研修会や保護者交流会等、保護者向けのイベントを開催し、相談・支援できる場を提供することを心がけています。

移行支援

- ・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。
- ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。

地域支援・地域連携

- ・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。
- ・保育園等や福祉サービス等と連絡を取りあい、連携会議等を行って情報共有しています。

職員の質の向上

月に2回事業所内研修を実施し、ケース検討会を行いながら知識・技術の向上を図っています。また、月に1回法人研修会を実施し、ケース検討や研修会を行い様々な職種と話す機会を設け、こどもの特性や困り事への支援方法について学んでいます。

主な行事

保護者交流会、保護者研修会 等



健康・生活

- ・視覚的な提示を利用しながら、勉強場面と休憩場面の切り替えを促すことで、見通しをもって過ごす経験を積み、日常生活の中で時間を意識した行動に繋がります。
- ・手順書や構造化などの視覚支援を用いて基本的な生活習慣の獲得を促します。



運動・感覚

- ・指先を使用する課題を通して巧緻機能の向上を図ります。
- ・バランスボールやブランコ等の粗大運動活動を通して、感覚刺激の充足と粗大機能の向上を図ります。



認知・行動

- ・視覚的支援(スケジュールやワークシステム等)を用いて環境を構造化し、その中で認知の発達を促し自立を目指します。
- ・就学に向けて、課題を通して机上に向かう時間の増加や、
・様々な概念獲得に向け、本人の特性や能力を観察し、課題の提供を行います。



言語
コミュニケーション

- ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。
- ・本人の特性に合わせて、言語表出の機会を設け、振り返りを行い、コミュニケーション能力の向上のための支援を行います。
- ・絵カード交換式コミュニケーションシステム(PECS)などを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。



人間関係
社会性

- ・大人が介入して行う連合的な遊びや協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。
- ・大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。